目次
INDEX

p. 2 - p. 9	日本語
p. 10 - p. 21	ENGLISH
p. 22 - p. 29	中文（簡体字）
p. 30 - p. 37	中文（繁体字）
p. 38 - p. 46	한국어

京都新阪急ホテル　宿泊約款

(適用範囲)

第1条　当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。

2. 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条　当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

(1) 宿泊者名
(2) 宿泊日及び到着予定時刻
(3) 宿泊料金(原則として別表第１の室料による。)
(4) その他当ホテルが必要と認める事項

2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条　宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の室料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第19条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条　前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(施設における感染防止対策への協力の求め)

第4条の2　当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法(昭和23 年法律第138号)第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条　当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

(1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
(2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
(3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
(4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
(5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
(6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
(7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)。
(8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第５条の6で定めるものを繰り返したとき。
(9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
(10) 宿泊しようとする者が、次の各号のいずれかに該当する者であるとき。
（京都市旅館業法の施行及び旅館業の適正な運営を確保するための措置に関する条例第19条の規定に該当するとき。）
イ 泥酔者その他他の宿泊客又は利用客に迷惑を掛け、又は迷惑を掛けるおそれがある者
ロ 異常な挙動又は言動がある者
ハ 明らかに支払能力がないと認められる者
ニ 旅館業法第6条第2項の規定に違反した者
ホ その他宿泊を拒むことに正当な理由があると認められる者

(宿泊契約締結の拒否の説明)
第5条の2 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊客の契約解除権)
第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後10時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

第7条　当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第５条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

(1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。

(2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。

イ　暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ　暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ　法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

(3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。

(5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)。

(6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第５条の６で定めるものを繰り返したとき。

(7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。

(8) 宿泊客が、次の各号のいずれかに該当する者であるとき。

（京都市旅館業法の施行及び旅館業の適正な運営を確保するための措置に関する条例第19条の規定に該当するとき。）

イ　泥酔者その他他の宿泊客又は利用客に迷惑を掛け、又は迷惑を掛けるおそれがある者

ロ　異常な挙動又は言動がある者

ハ　明らかに支払能力がないと認められる者

ニ　旅館業法第6条第2項の規定に違反した者

ホ　その他宿泊を拒むことに正当な理由があると認められる者

(9) 所定の場所以外での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。

2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

（宿泊契約解除の説明)

第7条の2　宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊の登録)

第8条　宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

(1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先

(2) 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号

(3) その他当ホテルが必要と認める事項

2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条　宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌日の午前11時までとします。ただ

し、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の便用に応じることがあります。この場合は、当ホテルが提示する追加料金を申し受けます。

(利用規則の遵守)

第10条　宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条　当ホテルの主な施設等の営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のインフォメーション等で案内します。ただし、やむを得ない場合は、これらを臨時に変更する場合があります。この場合、当ホテルは、適切な方法により周知するものとします。

(料金の支払い)

第12条　宿泊者が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第13条　当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(免責事項)

第14条　当ホテル内からのコンピューター通信（インターネット接続等をいいます。）の利用に当たりましては、利用者自身の責任にて行うものとします。コンピューター通信の結果（通信速度の低下、中断、不通等を含みます。）により、利用者がいかなる損害を受けた場合におきましても、当ホテルは、一切の責任を負いません。また、コンピューター通信の利用に当たり、当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテル及び第三者に損害が生じたときは、その損害を賠償していただきます。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第15条　当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第16条　宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。
ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第17条　宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合は、原則として、発見日を含め最長7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車の責任)

第18条　宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第19条　宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

（支配する言語）

第20条　本約款は、日本語により作成されたものを原文とし、他の言語に翻訳されたものとの間に解釈の不一致又は相違があるときは、日本語が優先されるものとします。

（管轄及び準拠法）

第21条　本約款に関して生じる一切の紛争については、大阪地方裁判所又は大阪簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所と定め、日本の法令に従い解決されるものとします。

（約款の変更）

第22条　本約款は、民法に定める定型約款に該当し、宿泊客の一般の利益に適合する場合または変更を必要とする相当の事由があると認められる場合には、民法の規定に基づいて変更します。

2. 本約款の変更は、変更後の規定の内容を当社のウェブサイトに掲載し、その際に定める効力発生日から適用されるものとします。

別表第１ 宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内訳
宿泊者が 支払うべき総額	宿泊料金	① 室料 ② サービス料（①× 15%）
	追加料金	③ 追加飲食及びその他の利用料金 （サービス料が発生する場合はサービス料を含む）
	税金	イ 消費税 ロ 宿泊税

（備考） 宿泊料金は予約時の申し込み料金に準じます

別表第2 違約金(第6条第2項関係)

	契約解除の 通知を受けた日 ／契約申込人数	不泊	当日	前日	9日前	13日前	20日前
一般	7名まで	100%	80%	20%	-	-	-
団体	8名～39名	100%	80%	20%	10%	-	-
	40名～79名	100%		80%	20%	10%	-
	80名以上	100%		80%	30%	20%	10%

（注） 1. %は、室料に対する違約金の比率です。
2. 当ホテルへ直接申し込みされた予約以外のキャンセルについてはその予約元の基準に従うものとします。
3. 当ホテルが別途企画する宿泊パッケージ、その他個別の特約により上記とは異なる違約金を定めた場合は、その定めに従うものとします。

利用規則

当ホテルは、公共性と安全性を確保し、お客様に快適にお過ごしいただくため、宿泊約款第10条に基づいて、次のとおり利用規則を定めております。この規則で定められた事項をお守りいただけないときは、宿泊約款第7条により、やむを得ずご宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げることがあります。また、同第19条に基づき損害を賠償していただくこともございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

1．安全と保安上お守りいただきたいことについて

(1) 客室内での火災・事故防止のため、以下の事項をお守りください。

・客室をご不在にされる際は、スマートフォン・モバイルバッテリーの充電をお控えください。
・コンセントに接続した充電器・充電ケーブルを寝具の上で使用または放置しないでください。
・モバイルバッテリーは、直射日光のあたる場所、高温になる可能性のある場所、ベッドやシーツなど燃えやすい素材の近くでは使用しないでください。
・充電器や充電コードが異常に発熱した場合は、直ちに使用を中止してください。
・高温になったモバイルバッテリー、充電器及び充電コードを放置しないでください。
・暖房用・炊事用等の火器および発火のおそれのある物品は使用しないでください。
・花火、線香、ロウソク類等の火災の原因となるような物品のご使用はおやめください。

(2) 当ホテルの客室は全室禁煙です。館内の決められた場所以外での喫煙（電子タバコ、加熱式タバコ等による喫煙を含む）はご遠慮ください。
客室内で煙草臭が確認されるなど、客室での喫煙（電子タバコ、加熱式タバコ等による喫煙を含む）が確認された場合は、消臭作業や寝具、カーテン、壁紙等のクリーニング、補修などにかかる費用の一部として、金30,000円を申し受けます。
なお、これを超える損害が発生した場合には、その実費相当額を別途請求いたします。

(3) 客室からの避難経路図は、客室入口ドアの裏側に掲示しておりますので、あらかじめご確認ください。

(4) ご滞在中お部屋から出られる際は、施錠をご確認ください。

(5) ご滞在中、ドアがノックされた際は、ドアチェーンを掛けたまま開扉するか、ドアスコープでご確認ください。不審に感じた場合は、フロントデスクにご連絡ください。

2．貴重品、お預かり品のお取り扱いについて

現金その他の貴重品については、お客様ご自身の責任において管理いただきますよう、お願いいたします。

(1) 現金その他の貴重品のお預かりを希望される場合は、フロント備え付けの貸金庫をご利用いただくことが可能です。
※ 万一、客室内において、紛失・盗難等が発生した場合は、宿泊約款第16条第2項の規定に基づき対応させていただきます。

(2) 忘れ物、遺失物の処置は、法令に基づいてお取り扱いいたします。

(3) お預かり物の保管期間は、原則として下記の通りお取り扱いさせていただきます。
クロークでのお預かり物 7日

3．お支払いについて

(1) 原則として、ご到着の際宿泊料金等を申し受けます。

(2) ご滞在中、フロントデスクから勘定書の提出がございましたら、その都度お支払いください。

(3) 小切手によるお支払いおよび両替はお受けできません。

(4) ホテル内のレストラン、バーのご利用に際し、会計伝票にご署名される場合は、お部屋の鍵を係員にご提示ください。

(5) ホテル直営でない飲食店物販店等での飲食代、お買い物代、および航空券、列車、遊覧バスなどの切符代、タクシー代、郵便切手代などの立替えはいたしかねます。

4. 他のお客様に不快感を与え、または迷惑を及ぼすおそれがあるため、おやめいただきたい行為

(1) ホテル内への次の物品のお持ち込み

1. 犬、猫、小鳥その他の愛玩物（補助犬は除く）
2. 発火または引火しやすい火薬や揮発油類及び危険性のある製品
3. 悪臭を発するもの
4. はなはだしく多量な物品
5. その他法令で所持を禁じられているもの

(2) 火災報知器、スプリンクラー、煙感知器、消火栓、その他火災予防に関する諸設備を、必要な時以外に使用したりいたずらすること

(3) ホテル内で賭博や風紀、治安を乱すような行為、または他のお客様の迷惑になったり、嫌悪感を与えるような行為

(4) 大声、騒音、放歌や喧噪的な行為、その他テレビやラジオの音量を大きくする等、他のお客様の迷惑になる行為、嫌悪感を与えるような行為

(5) 客室やロビーでの営業行為または事務所など、宿泊以外の目的にご使用になること

(6) ホテル内で広告、宣伝物を配布、貼付したり、物品の販売等を行うこと

(7) ホテル内の備品を所定の場所から移動したり、用途以外に現状を著しく変更してご使用になること

(8) 諸設備、諸物品をホテルの外へ持ち出すこと

(9) ホテルの外観を損なうようなものを窓に掛けたり、窓側に陳列すること

(10) 建物や設備に異物を取り付けたり、現状を変更するような加工をすること

(11) 寝間着、スリッパ等で廊下、ロビー、レストラン等、客室以外の諸施設にお出かけになること

(12) 廊下やロビーなどに所持品を放置すること

(13) 外来者を室内に入れ、客室内の設備、備品等を使用させること

(14) その他、前各号に準ずる行為であって、他のお客様の迷惑となり、またはホテルの秩序、風紀若しくは安全を害するおそれのある行為

5. その他

(1) 未成年のみのご宿泊は、保護者の許可・同意があることを条件といたします。

(2) 不可抗力以外の事由により建造物、備品その他ホテルの物品を損傷、汚染あるいは紛失させた場合は、相当額の弁償をしていただくことがあります。

(3) 客室内から電話をご利用の際は、施設利用料を加算させていただきます。

(4) ご訪問者との面会はロビーでお願いいたします。客室内での面会はご遠慮ください。

(5) 客室定員を超える宿泊は固くお断りいたします。

(6) ホテル外からの飲食物の出前、またはデリバリーサービス等のご利用は、お断りいたします。

(7) 次の方（個人または団体）については、当ホテルの諸施設のご利用をお断りすることがあります。

ア. 宿泊約款第5条の規定に該当する場合

イ. 当ホテル、従業員、または他のお客様に対し、暴力・威迫・恐喝・威圧的な不当要求、あるいは合理的な範囲を超える要求を行った場合（過去の同様の行為を含む）

(8) 取材・撮影・公開等に関する注意事項

当ホテルの敷地内において、当ホテルの許可なく営利目的による写真撮影、録音、録画、取材、広告利用又はこれらの内容の公開等を行うことは、固くお断りいたします。

また、目的の如何を問わず、当ホテルの他のお客様又は従業員その他ホテルでの勤務者のプライバシー・肖像権その他の権利利益を侵害するおそれのある写真撮影・録音・録画配信その他の行為を、禁止いたします。

以上

Accommodation Terms and Conditions

(Scope of Application)

Article 1. Accommodation contracts and related agreements to be concluded between the hotel and the guest shall be subject to these Terms and Conditions, and all matters not provided herein shall be subject to the laws and regulations, etc. (meaning laws and regulations or those based on laws and regulations; the same shall apply hereinafter) or generally accepted practices.

2. In the event that the hotel has entered into a special agreement to the extent that such special agreement does not violate any laws and regulations and generally accepted practices, the special agreement shall prevail, notwithstanding the preceding paragraph.

(Application for Accommodation Contract)

Article 2. A person who intends to make an application for an accommodation contract with the hotel shall notify the hotel of the following information:

(1) Name of the guest(s)

(2) Date of accommodation and estimated time of arrival

(3) Accommodation fee (in principle, based on the Room charge listed in Attached Table 1)

(4) Other information deemed necessary by the hotel

2. When the guest requests extension of the accommodation beyond the date(s) in Item (2) of the preceding Paragraph during his/her stay, the hotel shall process it as an application for a new accommodation contract made at the time of such request.

(Conclusion of an Accommodation Contract, etc.)

Article 3. An accommodation contract shall be deemed to have been concluded when the hotel has duly accepted the application set forth in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the hotel has not accepted the application.

2. In the case where an accommodation contract has been concluded in accordance with the provision of the preceding Paragraph, the guest must pay an accommodation deposit fixed by the hotel within the limits of the Room charge covering the guest's entire period of stay (three days when the period of stay exceeds three days) by the date specified by the hotel.

3. The accommodation deposit shall be first used for the total accommodation fees to be paid by the guest, then secondly for the cancellation fee under Article 6, and thirdly for the compensation under Article 19 as applicable; the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the accommodation fee set forth in Article 12.

4. If the guest fails to pay the accommodation deposit by the date set forth in Paragraph 2, the accommodation contract shall become invalid. However the same shall apply only in the case where the guest is thus informed by the hotel at the time when the payment date of the accommodation deposit is specified.

(Special Provisions Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the hotel may accept special provisions requiring no accommodation deposit set forth in the same Paragraph after the contract has been concluded.

2. In the case where the hotel has not requested payment of the accommodation deposit set forth in Paragraph 2 of the preceding Article or has not specified the payment date of the accommodation deposit at the time when the application for an accommodation contract has been accepted, it shall be deemed that the hotel has accepted the special provisions set forth in the preceding Paragraph.

(Request for cooperation in infection prevention measures at the hotel facility)

Article 4-2. The hotel may request the cooperation of those who intend to stay at the hotel in accordance with Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5. The hotel may refuse to conclude an accommodation contract in the following cases.However, this paragraph does not mean that the hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

(1) When the application for accommodation is not based on the provisions of these Terms and Conditions.

(2) When the hotel is fully booked and there is no vacancy.

(3) When the person seeking accommodation is recognized to be likely to commit an act contrary to the provisions of laws and regulations or public policy regarding accommodation.

(4) When the person seeking accommodation is recognized to fall under any of the following (a) to (c)

(a) An organized crime group set forth in Article 2, Item (ii) of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as an "organized crime group"), a member of an organized crime group set forth in Article 2, Item (vi) of the said Act (hereinafter referred to as an "organized crime group member"), a quasi-member of an organized crime group, an organized crime group related person, or any other anti-social forces

(b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member

(c) A corporation whose officer falls under the category of an organized crime group member

(5) When the person seeking accommodation has behaved in a manner that is significantly disturbing to other guests.

(6) When a person who intends to stay at the hotel is a patient, etc., with a specific infectious disease as stipulated in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as “Patients, etc., with a specific infectious disease”).

(7) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation. (However, this excludes cases where a person who intends to stay at the hotel requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities [Act No. 65 of 2013; hereinafter referred to as the "Disabilities Discrimination Act"].)

(8) When a person who intends to stay at the hotel repeatedly asks the hotel what is stipulated in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request that is so burdensome in its implementation and may seriously impede the provision of accommodation services to other guests.

(9) When the hotel is unable to provide accommodation due to a natural disaster, a breakdown of the facilities, or other unavoidable reasons.

(10) When any of the following Items applies to the person seeking accommodation (In the case where the provision of Article 19 of the Kyoto City Ordinance on Enforcement of the Hotel Business Act and Measures to Ensure the Proper Implementation of Hotel Business applies)

(a) A person who is drunk or otherwise disturbs or is likely to disturb other guests or users

(b) A person engaging in abnormal behavior or actions

(c) A person clearly lacking the ability to make payment

(d) A person who has violated Article 6, Paragraph 2 of the Hotel Business Act

(e) A person for whom it is otherwise recognized justifiable to refuse accommodations

(Explanation of refusal to conclude accommodation contract)

Article 5-2. In the event that the hotel refuses to conclude an accommodation contract in accordance with the preceding article, the person who intends to stay at the hotel may request an explanation of the reasons for such refusal.

(Guest's Right to Cancel the Contract)

Article 6. The guest may cancel the accommodation contract by notifying the hotel.

2. If the guest cancels the accommodation contract, in whole or in part, for reasons attributable to the guest (except where the hotel has specified a payment date for the accommodation deposit and requested the payment of the accommodation deposit in accordance with the provision of Article 3, Paragraph 2, and the guest has canceled the accommodation contract prior to such payment), the hotel shall charge the guest the cancellation fee set forth in Attached Table 2. However, in the case where the hotel has accepted special provisions set forth in Paragraph 1 of Article 4, it shall be limited to the case where the hotel has notified the guest, upon the acceptance of such special provisions, of the obligation to pay a cancellation fee in the event of cancellation of the accommodation contract by the guest.

3. If the guest fails to arrive by 10:00 pm on the day of the stay (or 2 hours

after the estimated time of arrival, if the estimated time of arrival has been specified in advance) without any contact, the hotel may treat the accommodation contract as having been canceled by the guest.

(The Hotel's Right to Cancel the Contract)

Article 7. The hotel may cancel the accommodation contract in the following cases. However, this paragraph does not mean that the hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

(1) When the guest is recognized as likely to commit an act contrary to the provisions of laws and regulations or public policy regarding accommodation, or when the guest is recognized to have committed such an act.

(2) When the guest is recognized as falling under any of the following (a) to (c)

(a) an organized crime group, an organized crime group member, a quasi-member of an organized crime group, an organized crime group related person, or any other anti-social forces

(b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member

(c) A corporation whose officer falls under the category of an organized crime group member

(3) When the guest has behaved in a manner that is significantly disturbing to other guests.

(4) When a guest is a patient, etc., with a specific infectious disease.

(5) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation. (However, this excludes cases where the guest requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Disabilities Discrimination Act.)

(6) When a guest of the hotel repeatedly asks the hotel what is stipulated in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request that is so burdensome in its implementation and may seriously impede the provision of accommodation services to other guests.

(7) When it is unable to provide accommodation due to force majeure, such as natural disasters.

(8) When any of the following Items applies to the guest (In the case where the provision of Article 19 of the Kyoto City Ordinance on Enforcement of the Hotel Business Act and Measures to Ensure the Proper Implementation of Hotel Business applies)

(a) A person who is drunk or otherwise disturbs or is likely to disturb other guests or users

(b) A person engaging in abnormal behavior or actions

(c) A person clearly lacking the ability to make payment
(d) A person who has violated Article 6, Paragraph 2 of the Hotel Business Act
(e) A person for whom it is otherwise recognized justifiable to refuse accommodations

(9) Smoking outside designated areas, tampering with fire-fighting equipment, or violating any other fire prevention rules (limited to those necessary for fire prevention) provided in the hotel's Rules of Use.

2. When the hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding Paragraph, the guest shall not be charged for any accommodation services that have not yet been provided to him/her.

(Explanation of cancellation of accommodation contract)

Article 7-2. In the event that the hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

(Accommodation Registration)

Article 8. The guest shall register the following information at the front desk of the hotel on the day of his/her stay.
(1) Guest's name, address and contact information
(2) For foreign nationals who do not have an address in Japan: nationality and passport number
(3) Other information deemed necessary by the hotel

2. If the guest intends to pay the fees under Article 12 by hotel voucher, credit card, or any other method which may be substituted for currency, the guest shall present them in advance at the time of registration set forth in the preceding Paragraph.

(Guest Rooms Available Hours)

Article 9. The time allowed for the guest to use the guest room of the hotel shall be from 3 pm to 11 am of the following morning. However, the room may be used for the whole day in the case where the guest stays more than one night consecutively, excluding the day of arrival and the day of departure.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the hotel may accept use of the guest room outside the hours specified in the preceding Paragraph. In this case, the additional fee specified by the hotel will be charged.

(Compliance with Rules of Use)

Article 10. Inside the hotel, the guest shall comply with the Rules of Use set forth by and posted in the hotel.

(Business Hours)

Article 11. Details of operating hours of the main facilities of our hotel will be provided in the in-room information, hotel brochures, and notices posted throughout the premises. However, these hours may be temporarily changed due to

unavoidable circumstances. In such cases, the hotel will notify guests by an appropriate method.

(Payment of Charges)

Article 12. The details of the accommodation fee and other charges to be paid by the guest shall be as specified in Attached Table 1.

2. Payment of the accommodation fee and other charges specified in the preceding Paragraph shall be made at the front desk upon the guest's arrival or upon the hotel's request. Payments can be made by cash, by accommodation vouchers recognized by the hotel, by credit card, or by any other method accepted by the hotel.
3. The accommodation fee must be paid even if the guest voluntarily decides not to stay in the room after the hotel has offered it to the guest and made it available for his/her use.

(Liability of the Hotel)

Article 13. The hotel shall compensate the guest for any damage caused by its performance or non-performance of the accommodation contract and any contracts related thereto. However, it shall not apply if the damage is caused by reasons not attributable to the hotel.

2. The hotel is covered by hotel liability insurance in order to deal with unexpected fire and other disasters.

(Disclaimers)

Article 14. A user shall be held responsible for any computer communication (such as access to the Internet) he or she performs on the premises of the Hotel. The Hotel assumes no responsibility for any possible damage that may be incurred by the user as the result of use of the computer communication system (including slow down of communication speed and interruption of communication). In addition, the Guest may be required to compensate the Hotel and a third party for any possible damage caused by acts deemed by the Hotel to be an inappropriate use of the computer communication system.

(Handling in the Event That the Hotel Is Unable to Provide Contracted Guest Room)

Article 15. In the event that the hotel is unable to provide the guest with the contracted guest room, the hotel shall, with the guest's consent, arrange for another accommodation under the same conditions as far as possible.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, if the hotel is unable to find another accommodation, the hotel shall pay the guest compensation equivalent to the cancellation fee, which shall be applied to the amount of compensation for damage. However, no compensation shall be paid in the event that there is no reason attributable to the hotel for not being able to provide the guest room.

(Handling of Deposited Items)

Article 16. The hotel shall compensate for any loss, damage, etc. caused to items or cash and valuables deposited by the guest at the front desk, unless such loss,

damage, etc. is caused by force majeure. However, in the event that the hotel requires the guest to disclose the type and value of the cash and valuables and the guest fails to do so, the hotel shall compensate for damage within the limit of 150,000 yen.

2. The hotel shall compensate for any loss, damage, etc. caused to items or cash and valuables brought into the hotel by the guest that are not left at the front desk by an intentional or negligent act of the hotel.
However, for those for which the guest has not disclosed the type and value in advance, the hotel shall compensate for damage within the limit of 150,000 yen, unless there is an intentional act or gross negligence on the part of the hotel.

(Storage of Baggage or Personal Effects of Guests)

Article 17. In the case where the guest's baggage arrives at the hotel prior to his/her stay, the hotel shall take responsibility for its storage only when the hotel accepts it prior to its arrival and shall hand it over to the guest when he/she checks in at the front desk.

2. In principle, if a guest forgets any baggage or personal effects at the hotel after checking out, the hotel will keep them for up to seven days, including the day they are found, and thereafter deliver them to the nearest police station.
3. The responsibility of the hotel for the storage of the guest's baggage or personal effects in the case of the preceding two paragraphs shall be dealt with in the same manner as the provision of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1 hereof and the provision of Paragraph 2 of the same Article in the case of the preceding Paragraph.

(Parking Responsibility)

Article 18. In the case where the guest uses the hotel's parking lot, the hotel rents the space only and shall assume no responsibility for managing the vehicle, regardless of whether or not the guest has deposited the car key. However, the hotel shall be responsible for any damage caused by its intentional act or negligence in the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 19. If the hotel suffers any damage due to an intentional act or negligence on the part of the guest, the guest shall compensate the hotel for such damage.

(Primary Language)

Article 20. These terms and conditions are prepared in Japanese and other languages, but in the event of any inconsistency or discrepancy between the original Japanese text and translations, the Japanese text shall prevail.

(Governing Law and Jurisdiction)

Article 21. Any dispute in connection with these Terms and Conditions shall be resolved by the Osaka District Court or the Osaka Summary Court as the agreed exclusive jurisdiction of the first instance in accordance with Japanese law.

(Amendment of Terms and Conditions)

Article 22. These Terms and Conditions constitute a standard form contract as defined under the Civil Code. They may be amended in accordance with the provisions of the Civil Code if deemed to conform to the general interests of guests or where there is a valid justification.

2. Any amendments to these Terms and Conditions shall apply from the effective date specified at the time of posting of the amended provisions on our website.

Attached Table 1: Breakdown of Accommodation Fees
(related to Article 2, Paragraph 1 and Article 12, Paragraph 1)

		Breakdown
Total amount to be paid by the guest	Accommodation fee	① Room charge ② Service charge (① × 15%)
	Additional charge	③ Additional food and beverage and other fees (Including service charges if applicable)
	Taxes	(a) Consumption tax (b) Accommodation tax

(Note) Accommodation fees will be based on the rate at the time of booking.

Attached Table 2: Cancellation Fees (related to Article 6, Paragraph 2)

	Date on which the notice of contract cancellation is received／Number of persons applying for the contract	No show	Accommodation day	1 day prior to accommodation day	9 day prior to accommodation day	13 day prior to accommodation day	20 day prior to accommodation day
[Individual]	1 to 7	100%	80%	20%	-	-	-
[Group]	8 to 39	100%	80%	20%	10%	-	-
	40 to 79	100%		80%	20%	10%	-
	80 or more	100%		80%	30%	20%	10%

(Notes) 1. The percentages show the portion of the accommodation fee charged as cancellation fee.
2. Regarding cancellation of reservations that were not made directly with the hotel, the cancellation policy of the original booking source shall apply.
3. In cases where the hotel offers special accommodation packages or other individual agreements that specify cancellation fees different from the above, those fees shall apply.

Hotel Regulations

At our hotel, we have formulated the following Usage Rules based on Article 10 of the Accommodation Agreement to ensure the public nature and safety of the premises so that guests may spend their time in comfort.
If you fail to follow the items stipulated in these regulations, we may deny your request for accommodation or use of hotel facilities in accordance with Article 7 of our Accommodation Agreement. Furthermore, please also note that you may be held responsible for damages pursuant to Article 19.

1. Fire Prevention and Security
    (1) To prevent fires and accidents in guest rooms, please observe the following rules.
        - Refrain from charging smartphones or power banks while you are away from your room.
        - Do not use or leave chargers or charging cables connected to a power outlet on bedding.
        - Do not use power banks in direct sunlight, in places where they may be exposed to high temperatures, or near flammable materials such as beds or bed linens.
        - If chargers or charging cables become unusually hot, please discontinue use immediately.
        - Do not leave overheated power banks, chargers, or charging cables unattended.
        - Do not use heating appliances, cooking equipment, or any other items that may cause fire.
        - Do not use fireworks, incense sticks, candles, or any other items that may cause fire.
    (2) All guest rooms of the hotel are non-smoking. Please refrain from smoking anywhere other than designated areas within the building (including smoking with electronic cigarettes, heated tobacco products, etc.).
    If we determine that a guest has smoked in a guest room (including the use of electronic cigarettes, heated tobacco products, or similar devices) based on factors such as tobacco odors, the hotel will charge 30,000 yen to cover part of the costs associated with deodorization, cleaning, and repairs to bedding, curtains, wallpaper, and other guest room furnishings. If the actual costs incurred exceed this amount, the additional costs will be charged separately.
    (3) The emergency evacuation route from your guest room is posted on the back of your entrance door. Please review it upon your arrival.
    (4) When leaving the room, please ensure that the door is locked.
    (5) If there is a knock on the door during your stay, please open the door with the door chain on or check your visitor using the peephole. If you notice anything suspicious, please contact the front desk.

2. Handling of valuables and checked articles
    Please keep your cash and other valuables under your own care and responsibility.
    (1) If you wish to deposit your cash or other valuables with the hotel, safety boxes are available at the front desk.
    * In the event of any loss or theft occurring in the guest room, the matter will be handled in accordance with Article 16, Paragraph 2 of the Accommodation Agreement.

(2) Belongings left behind or lost will be handled according to the law.
(3) Belongings checked or left behind will be kept only for the period as follows:
Items left with the cloakroom …… 7 days

3. Payment
(1) In principle, please understand that you may be requested to pay a deposit at the time of your arrival.
(2) Please settle your account each time a bill of statement is delivered to you.
(3) Please understand that we cannot accept payment by checks. We do not provide currency exchange services either.
(4) Please present your key to the staff when signing the bill at our hotel restaurants and bars.
(5) Please note that the hotel cannot make payments on behalf of guests for any food or drink items or shopping at restaurants and other retail establishments not directly managed by the hotel, or for air tickets, train tickets, sightseeing bus tickets, taxi fares, postage stamps, etc.

4. To ensure the comfort and convenience of all guests, we ask that you refrain from any of the following conduct that may cause discomfort or inconvenience to other guests
(1) Please do not bring into the Hotel the following articles:
1. Dogs, cats, birds or other animals except guide dogs
2. Explosive items such as powder, gasoline, etc.
3. Things likely to cause bad odors
4. An extremely excessive amount of items
5. Other items whose possession is prohibited by Japanese laws and regulations
(2) Please do not tamper with the fire prevention facilities, including fire alarms, smoke sensors, fireplugs, sprinklers, and do not use them for purposes other than their intended use.
(3) Please do not gamble or behave in an immoral manner in the Hotel, nor in any way that may give other guests cause to complain.
(4) Behavior that disturbs or may be offensive to other guests, such as speaking loudly, making loud noises, singing loudly, or excessively turning up the volume of the television or radio.
(5) Please do not use rooms or the lobby as business offices, or for purposes other than lodging.
(6) Please do not deliver advertising materials or sell goods to other guests in the Hotel.
(7) Please do not remove any fixtures from their prescribed place and do not use them for purposes other than their intended use.
(8) Please do not take any fixtures or items which belong to the Hotel out of the Hotel premises.
(9) Please do not display goods by the windows that may spoil the outside view of the Hotel.
(10) Attaching any objects to the building or its facilities, or making any alterations or modifications to their current state.
(11) Please wear bathrobes and slippers only in the guest rooms and not in public areas such as hallways, the lobby, or restaurants.
(12) Please do not leave your belongings in the hallways or the lobby.
(13) Inviting visitors into the guest rooms and letting them use hotel facilities and equipment.

(14) Any other acts similar to those described in the preceding items that may cause inconvenience to other guests or disrupt the order, public morals, or safety of the hotel.

5. Other
   (1) Unaccompanied minors are not permitted to stay without the consent of a parent or legal guardian.
   (2) The guest shall compensate the hotel for any damage to the hotel facilities caused by intention or negligence on the part of the guest.
   (3) A handling fee will be added to the guest's outgoing telephone calls.
   (4) Please meet visitors in the lobby. Please refrain from meeting visitors in the guest rooms.
   (5) Exceeding the maximum occupancy of the guest rooms is strictly prohibited.
   (6) We do not allow the delivery of food or beverages from outside of the hotel.
   (7) The hotel may deny access to its facilities to the following individuals or groups:
      a. Persons who fall under any of the provisions of Article 5 of the Accommodation Agreement
      b. Persons who have engaged in violence, intimidation, extortion, coercive or unreasonable demands, or demands exceeding reasonable limits directed at the hotel, its employees, or other guests, including any similar conduct in the past
   (8) Precautions for media coverage, photography, and publication
      Commercial photography, audio and video recordings, media coverage, advertising, and the publication of such content or any similar activities within the hotel premises are strictly prohibited without permission from the hotel.
      Furthermore, regardless of the purpose, the hotel strictly prohibits photographing, audio and video recordings, live streaming, or any other activity that may infringe upon the privacy, portrait rights, or any other rights or interests of other guests, hotel employees, or other staff members working at the hotel.

住宿条款

（适用范围）

第1条 本酒店与住宿宾客之间签订的住宿协议及其它相关协议应依照本条款规定，对于本条款中未作规定的事项，应依照法令（指法律或根据法律制定的各种条例，以下相同。）或社会约定俗成的习惯。

2、如本酒店在不违反法令及习惯的范围内适用特别条款，则不受前款规定的约束，优先适用上述特别条款。

(申请签订住宿协议)

第2条 试图与本酒店签订住宿协议的宾客须向告知本酒店以下事宜。

(1) 宾客姓名

(2) 住宿日期及预计抵达时间

(3) 住宿费用（原则上依照附表1“房费”。）

(4) 本酒店（或本旅馆）认为必要的其他事项

2、如宾客在住宿期间提出希望在前款第2项中所述的住宿日期之后继续住宿，则本酒店在接到这一要求时视为该宾客已提交新的住宿协议的签订申请，并作相应处理。

(住宿协议的成立等事宜)

第3条 住宿协议在本酒店认可前条中所述的申请时成立。但是，如本酒店证明本酒店未予认可，则不受此限。

2、根据前款规定，一旦住宿协议成立，则宾客须在本酒店指定的日期内，以住宿期间（如超过3天，则以3天计算）的房费为上限，向本酒店支付规定的预付金。

3、预付金首先充当宾客最终需要支付的住宿费用，如果发生了应适用第6条及第19条规定的情况，则依次充当违约金、赔偿金，之后如有余额，则根据第12条规定，在宾客支付费用时予以退还。

4、如宾客未将第2款中所述的预付金按照该款的规定，在本酒店指定日期内完成支付，则住宿协议失去效力。本款规定仅限本酒店在指定预付金支付日期时，本酒店将本款内容告知宾客的情况下有效。

(指出无需支付预付金的特别条款)

第4条 不受前条第2款规定的约束，对于指出协议成立后无需支付该款规定的预付金的特别条款，本酒店有权按照该特别条款，免收预付金。

2、在本酒店对宾客提交的住宿协议申请予以认可时，如本酒店未要求宾客支付前条第2款规定的预付金，或未指定该预付金的支付日期，则视为已按照前款中所述的特别条款进行处理。

(关于配合设施防疫的要求)

第4条第2款 本酒店对于试图在本酒店住宿的宾客，有权根据《旅馆业法》（昭和23年法律第138号）第4条第2款第1项规定，要求给予本酒店配合。

（关于拒绝签订住宿协议）

第5条 本酒店在下列情况下有权拒绝签订住宿协议。但是，本款并不意味着本酒店可以在《旅馆业法》第5条中所列情况以外拒绝宾客住宿。

(1) 住宿申请的法律依据非本条款时。

(2) 因客满而没有空余客房时。

(3) 判断认为试图在本酒店住宿的宾客可能在住宿时发生违反法令规定、公共秩序或

善良风俗的行为时。

(4) 判断认为试图在本酒店住宿的宾客符合以下a至c项的规定身份时。

(a)《防止暴力团员不当行为的相关法律（平成3年法律第77号）第2条第2项中所述的暴力团（以下简称“暴力团”。）、该法律第2条第6项中所述的暴力团员（以下简称“暴力团员”。）、暴力团预备成员或暴力团相关人员、其他反社会势力

(b) 宾客为事业活动由暴力团或暴力团员支配的法人或其他团体时

(c) 宾客为法人组织，其高管中存在符合暴力团员定义的人

(5) 试图在本酒店住宿的宾客，其言行对其他住宿宾客造成重大不便时。

(6) 试图在本酒店住宿的宾客为《旅馆业法》第4条第2款第1项第2号中规定的特定传染病患者等。（以下简称“特定传染病患者等”。）

(7) 宾客关于住宿做出暴力性要求行为，或提出超出合理范围的负担要求时(不包括试图在本酒店住宿的宾客根据消除因残疾导致的歧视相关法律(平成25年法律第65号，以下简称《残疾人歧视消除法》。））第7条第2款或第8条第2款规定，要求消除社会性障碍。）。

(8) 试图在本酒店住宿的宾客反复向本酒店提出《旅馆业法施行规则》第5条第6款中规定的服务，该服务可能会严重妨碍本酒店向其他住宿宾客提供住宿相关服务时。

(9) 由于自然灾害、设施故障或其他不可避免的原因而无法接待宾客时。

(10) 判断认为试图在本酒店住宿的宾客符合以下任意一项规定的身份时。（符合《确保京都市旅馆业法的施行及旅馆业适当开展运营的相关条例》第19条规定时。）

(a) 醉酒者，或对其他住宿宾客造成不便，或有可能造成不便的人

(b) 表现出异常言行的人

(c) 判断认为明显缺乏支付能力的人

(d) 违反《旅馆业法》第6条第2款规定的人

(e) 其他判断认为有正当理由拒绝住宿的人

（关于拒绝签订住宿协议的说明）

第5条第2款 当本酒店根据前条规定拒绝签订住宿协议时，试图在本酒店住宿的宾客有权要求本酒店说明理由。

（住宿宾客的协议取消权）

第6条 住宿宾客拥有告知本酒店后取消住宿协议的权力。

2、当住宿宾客因其自身原因而取消了全部或部分住宿协议时（不包括根据第3条第2款规定，本酒店指定了预付金支付日期并要求宾客支付，住宿宾客在支付前取消住宿协议的情况。），本酒店将根据附表2中的规定内容，收取违约金。但是，该条款仅适用于本酒店按照第4条第1款记载的特别条款进行处理，在按照该特别条款进行处理时，本酒店已告知住宿宾客，住宿宾客取消住宿协议时承担违约金的支付义务。

3、如住宿宾客在未经联系的情况下，于住宿日期的当天下午10时（如提前告知抵达时刻，则为该时刻经过2小时的时刻）尚未抵达本酒店，则本酒店有权视为住宿宾客已取消住宿协议，进行相应处理。

（本酒店的协议取消权）

第7条 本酒店在下列情况下有权取消住宿协议。但是，本款并不意味着本酒店可以在《旅馆业法》第5条中所列情况以外拒绝宾客住宿。

(1) 判断认为住宿宾客可能在住宿时发生违反法令规定、公共秩序或善良风俗的行为时，或者已经发生该类行为时。

(2) 判断认为住宿宾客符合以下a至c项的规定身份时。
(a) 暴力团、暴力团员、暴力团预备成员或暴力团相关人员、其他反社会势力
(b) 宾客为事业活动由暴力团或暴力团员支配的法人或其他团体时
(c) 宾客为法人组织，其高管中存在符合暴力团员定义的人
(3) 住宿宾客的言行对其他住宿宾客造成重大不便时。
(4) 当住宿宾客是特定传染病的患者时。
(5) 宾客关于住宿做出暴力性要求行为，或提出超出合理范围的负担要求时（不包括住宿宾客根据《残疾人歧视消除法》第7条第2款或第8条第2款规定，要求消除社会性障碍时。）。
(6) 住宿宾客反复向本酒店提出《旅馆业法施行规则》第5条第6款中规定的服务，该服务可能会严重妨碍本酒店向其他住宿宾客提供住宿相关服务时。
(7) 因自然灾害等不可抗力原因导致无法提供住宿服务时。
(8) 判断认为住宿宾客符合以下任意一项规定的身份时。（符合《确保京都市旅馆业法的施行及旅馆业适当开展运营的相关条例》第19条规定时。）
(a) 醉酒者，或对其他住宿宾客造成不便，或有可能造成不便的人
(b) 表现出异常言行的人
(c) 判断认为明显缺乏支付能力的人
(d) 违反《旅馆业法》第6条第2款规定的人
(e) 其他判断认为有正当理由拒绝住宿的人
(9) 在规定场所以外吸烟、对消防设备等进行恶意行为、不遵守本酒店服务条款所规定的其它禁止事项（仅限于为防止火灾所必需的事项。）时。

2、本酒店根据前款规定取消住宿协议时，对于尚未向住宿宾客提供的住宿服务等，不会收取相关费用。

（关于取消住宿协议的说明）

第7条第2款 当本酒店根据前条规定取消签订住宿协议时，住宿宾客有权要求本酒店说明理由。

(住宿登记)

第8条 住宿宾客须于住宿日期当天，在本酒店前台进行以下事项的登记。
(1) 住宿宾客的姓名、住址及联系方式
(2) 在日本国内没有住址的外国人则为国籍及护照号码
(3) 本酒店认为必要的其他事项

2、如住宿宾客试图使用住宿券、信用卡等可代替现金的手段支付第12条中所述的费用，须提前在进行前款所述的登记时出示这些手段。

（客房的使用时间）

第9条 住宿宾客能够使用本酒店客房的时间为下午3时至次日上午11时。但是，如属于连续住宿，则除了抵达日及出发日须遵守上述规定，其它日期可全天使用。

2、不受前款规定的约束，本酒店可酌情同意住宿宾客在该款规定的时间外使用客房。在此情况下，将收取本酒店标示的追加费用。

（对使用规则的遵守）

第10条 住宿宾客在本酒店内须遵守本酒店内张贴的由本酒店制定的使用规则。

（营业时间）

第11条 本酒店主要设施等的营业时间，将通过备置的宣传手册、各处公告、客房内资讯指南等

进行说明。但是，因特殊情况可能会临时变更。届时，本酒店将以适当方式进行公告。

(费用支付)

第12条 关于住宿宾客应支付的住宿费用等详细内容，请参阅附表1中记载。

2、前款所述的住宿费用等，须以现金或本酒店认可的住宿券、信用卡等可替代方法，于住宿宾客抵达时或本酒店请求时，在前台完成支付。

3、本酒店向住宿宾客提供客房，在客房可以使用后，即使住宿宾客因自身意愿而未住宿，本酒店也照常收取住宿费用。

(本酒店责任)

第13条 本酒店在履行住宿协议及其它相关协议时，或因不履行而给住宿宾客造成损失时，将赔偿住宿宾客的损失。但是，非本酒店原因造成的损失不在此限。

2、本酒店为预防火灾等意外事件，已加入“旅馆赔偿责任保险”。

(免责事项)

第14条 在本酒店内使用计算机通信（具体指互联网接入等服务）时，将由使用者本人承担相应责任 。对于计算机通信结果（包括通信速度低下、通信中断等现象）及使用者本人所遭受的任何损失，本酒店概不负责 。另外，本酒店认为因使用计算机通信不当造成本酒店及第三方遭受损失时 ，将要求使用者赔偿该损失 。

(无法提供约定客房时的处理)

第15条 如酒店无法为住宿宾客提供约定客房，应在征得住宿宾客同意后，尽可能安排在其他条件相同的住宿设施住宿。

2、不受前款规定的约束，如本酒店无法安排其他的住宿设施，则本酒店向住宿宾客支付与违约金等额的补偿费，以该补偿费作为损失赔偿。但是，如无法提供客房的责任不在于本酒店，则不支付补偿费。

(对寄存物品等的处理)

第16条 关于住宿宾客寄存在前台的物品、现金或贵重品，如发生灭失、毁损等损失时，除因不可抗力造成的情况，本酒店将对该损失进行赔偿。但是，关于现金和贵重品，如本酒店要求住宿宾客告知类型和价值，但住宿宾客未进行告知，本酒店将最多赔偿15万日元的损失。

2、关于住宿宾客带入本酒店后未向前台寄存的物品、现金或贵重品，如本酒店因故意或过失导致发生灭失、毁损等损失，本酒店将对该损失进行赔偿。但是，关于住宿宾客未提前告知类型和价值的该类物品，除因本酒店故意或重大过失导致的损失，本酒店将最多赔偿15万日元的损失。

(住宿宾客行李及携带物品的保管)

第17条 如住宿宾客的行李先于住宿宾客到达本酒店，仅限本酒店已提前同意的情况下负责保管，当住宿宾客在前台办理入住手续时交给本人。

2、如住宿宾客在办理退房后，将行李或随身物品遗忘于本酒店，原则上自发现之日起（含当天）最长保管7天，其后将送交至最近的警察署。

3、对于本条第2款所述的住宿宾客行李或携带物品，本酒店应承担的保管责任，如符合第1款所述情况，则适用第1款规定，如符合前款所述情况，则适用本条第2款规定。

(停车责任)

第18条 如住宿宾客在本酒店停车场停放车辆，不论是否向本酒店寄存车辆钥匙，本酒店仅仅是提供场地，不承担车辆的管理责任。但是，在进行停车场的管理过程中，如本酒店的故意或过失造成了损失，则本酒店承担相应的赔偿责任。

(住宿宾客的责任)

第19条 如住宿宾客的故意或过失给酒店造成损失，住宿宾客须向本酒店赔偿该损失。

(使用语种)

第20条 本条款以日语及其他语种制成，以日语版本为原文，如日语与其它语种版本之间存在不一致或差异，均以日语本为准。

(管辖法院及依据法律)

第21条 关于因本条款产生的一切争议，均以大阪地方法院或大阪简易法院为第一审专属合意管辖法院，并依照日本法律解决。

(条款的变更)

第22条 本条款属于民法规定的格式条款，于符合住宿宾客一般权益，或认为存在变更的充分理由时，将依照民法规定进行变更。

2、关于本条款的变更，将于本公司官方网站公告变更内容，并自公告时所定生效日期起适用。

附表１　住宿费用等详细内容(与第2条第1款及第12条第1款相关)

		详细内容
住宿宾客应支付的总额	住宿费用	① 房费 ② 服务费（① × 15%）
	追加费用	③ 追加饮食及其他的使用费用 (产生服务费时则包含服务费)
	税金	(a) 消费税 (b) 住宿税

（备注） 住宿费用以预约时的申请价格为准。

附表２　违约金(与第6条第2款相关)

	取消协议通知的收到之日 / 申请住宿人数	取消住宿	当天	前一天	9天前	13天前	20天前
普通	最多7名	100%	80%	20%	-	-	-
团体	8至39名	100%	80%	20%	10%	-	-
	40至79名	100%		80%	20%	10%	-
	80名及以上	100%		80%	30%	20%	10%

（注） 1、 百分比表示对于房费所适用的违约金比例。
2、 未经本酒店直接受理的预约，如需取消，依照各预约平台的规定进行处理。
3、 如本酒店另行策划的住宿套餐或其他个别特别约定中另有规定与上述内容不同的违约金，则应依照该约定进行处理。

使用规则

本酒店为了确保公共性与安全性，让客人感到舒适，根据住宿条款第10条，规定了以下使用规则。
如客人未能遵守本规定所规定的事项，本酒店有权依照住宿条款第7条，拒绝客人入住本酒店或使用酒店内各项设施。另根据住宿条款第19条，客人还可能需要承担相应的损害赔偿责任，敬请注意并予以配合。

1．关于安全与保安的注意事项

(1) 为防止客房内发生火灾及其他事故，请遵守以下事项。
- 离开客房期间，请勿为智能手机或移动电源充电。
- 请勿在床铺、被褥上使用已连接电源插座的充电器、充电线，或将这些物品放置于床铺、被褥上。
- 请勿在阳光直射区域、可能处于高温环境的区域，或床铺、床单等易燃物附近使用移动电源。
- 如发现充电器、充电线异常发热，请立即停止使用。
- 请对高温状态的移动电源、充电器、充电线进行适当处理。
- 请勿使用暖气、烹饪等明火器具或其他可能起火的物品。
- 请勿燃放烟花爆竹、线香、蜡烛等可能引发火灾的物品。

(2) 本酒店的所有客房均为禁烟房。请勿在馆内指定吸烟区以外的区域吸烟（包括吸食电子烟、加热烟等）。如确认到客房内残留烟味等客房内的吸烟行为（包括电子烟、加热式香烟等方式的吸烟行为），作为除臭作业及寝具、窗帘、墙纸等清洁、修复费用的一部分，本酒店将向客人收取30,000日元。如实际损失超过上述金额，本酒店将按照实际情况，另行收取相应费用。

(3) 客房房门的内侧张贴了客房的疏散路线图，请预先加以确认。

(4) 下榻期间，从客房外出时请确认房门上锁。

(5) 下榻期间如有人敲门，请在保持门链锁定的状态下开门，或先通过猫眼确认访客身份。如发现可疑情况，请立即联系前台。

2．关于贵重物品、寄存物品的处理

关于现金或其他贵重物品，请客人自行负责保管。

(1) 如希望由本酒店代为保管现金或其他贵重物品，则可使用前台内设置的寄存保险箱。
※ 万一客房内发生遗失或失窃等事件，本酒店将依照住宿条款第16条第2款规定进行处理。

(2) 遗忘或者丢失的物品将按照相关法令处理。

(3) 寄存物品的保管期限，原则上按照以下的期限处理。
行李寄存处的保管物品･･･7天

3．关于支付

(1) 原则上，到达酒店后会收取住宿费用。

(2) 下榻期间，如果前台提出账单的支付，请及时付款。

(3) 本酒店无法接受支票，也无法兑换外汇。请谅解。

(4) 在使用本酒店的餐厅及酒吧时，如果采取账单签字，请向服务员出示房间钥匙。

(5) 对于非本酒店直营的餐厅、商店等发生的餐饮费、购物费，以及机票、火车票、观光巴士车票、出租车费、邮票等费用，本酒店恕不提供垫付服务。

4. 为避免给其他客人带来不适或造成困扰，请避免发生以下行为

(1) 以下物品严禁带入酒店

1. 狗、猫、小鸟等宠物(辅助犬除外)
2. 起火或易燃的火药、挥发油类及危险制品
3. 散发恶臭的物品
4. 数量极多的物品
5. 其他明令禁止携带的物品

(2) 在必要使用时以外，对火灾报警器、自动洒水灭火设备、烟感知器、消防栓及其他火灾预防设备的使用和破坏行为

(3) 在酒店内进行赌博、有伤风化、违反治安等行为，或者给其他住宿客人带来麻烦和厌恶感的行为

(4) 发出大声、制造噪音、高声歌唱、喧闹行为，或将电视、收音机等的音量调得过大，以及其他可能打扰其他客人或引人反感的行为

(5) 把客房及大厅作为营业所或是有营业的行为、不以住宿为目的的行为

(6) 在酒店内进行广告、宣传品的分发和粘贴，以及物品贩卖等行为

(7) 移动酒店内物品的位置，严重改变物品现状并在用途范围以外进行使用的行为

(8) 将酒店内各种设备和物品带出酒店的行为

(9) 将有损酒店外观的物品挂在窗上或者在窗边摆放的行为

(10) 在建筑、设备上安装无关物品、改变现状的加工等行为

(11) 穿着睡衣、拖鞋等在走廊、大厅、餐厅等客房以外的设施走动的行为

(12) 在走廊或者大厅等处放置所持物品的行为

(13) 将外来人士带入房内，允许其使用客房内的设备、备用品等

(14) 其他与以上各项行为类似，可能给其他客人造成困扰，或可能扰乱酒店秩序、违反公序良俗或危害酒店安全的行为

5. 其他

(1) 如未成年人单独入住本酒店，须事先取得监护人的许可、同意。

(2) 不可抗力以外的原因造成建筑物、设备及其他酒店内的物品损坏、污染或者丢失的情况，有可能会要求赔偿相应数额。

(3) 使用客房内的电话拨打电话时，会收取设备使用费。

(4) 请在酒店大堂与访客见面。请勿与访客在客房内见面。

(5) 严禁入住人数超过规定的客房入住人数。

(6) 谢绝使用酒店外餐饮的外卖、配送等相关服务。

(7) 对于以下个人或团体，本酒店有权拒绝其使用酒店各项设施。

a. 符合住宿条款第5条规定的个人或团体；

b. 对本酒店、员工或其他客人实施暴力、威胁、恐吓、胁迫性不当要求，或提出超出合理范围要求的（包括曾有类似行为记录者）个人或团体

(8) 关于采访、拍摄、公开发布的注意事项

未经本酒店许可，严禁在酒店场地内以营利为目的进行拍摄、录音、录像、采访、广告宣传或公开发布上述内容等的行为。

此外，无论出于何种目的，对于可能侵犯本酒店其他客人、员工或其他本酒店工作人员的隐私权、肖像权以及其他合法权益的拍摄、录音、录像、直播等行为，一律禁止。

住宿條款

（適用範圍）

第1條 本飯店與住宿旅客之間簽訂之住宿契約及其相關契約，係依本條款之規定；本條款未規定之事項，悉依法令（法令或根據法令制定的規則。以下同。）或一般既定習俗之規範。

2. 本飯店在不違反法令等和既定習俗之範圍內接受特別約定時，無論前項規定如何，應以該特別約定為優先。

（申請住宿契約）

第2條 欲向本飯店申請住宿契約者，應向本飯店提出以下事項。

（1）住宿旅客姓名

（2）住宿日期和預定到達時間

（3）住宿費用（原則上依照附表1的房費計算。）

（4）其他本飯店（本館）認為必要之事項

2. 若住宿旅客於住宿期間內提出超過前項第2款所述的住宿日期的延長申請，本飯店在旅客提出申請的時點，將視為新的住宿契約申請進行處理。

（住宿契約之成立等）

第3條 住宿契約於本飯店承諾前項條款之申請時即告成立。但若經證明本飯店並無承諾時，則不在此限。

2. 住宿契約依前項規定成立時，以住宿期間（超過3天者依照3天計算）之房費為限，住宿旅客應於本飯店指定的日期前支付本飯店所規定的訂金。

3. 訂金將優先抵扣住宿旅客最終應支付的住宿費用，如果發生適用於第6條及第19條規定的事態時，將依照違約金、損害賠償金的順序抵扣，如有剩餘金額，則再依第12條之規定於進行費用支付時退款。

4. 若未將第2項中的訂金，依同項之規定於本飯店指定日期前支付時，住宿契約即告失效。但僅限於本飯店曾告知住宿旅客訂金之付款期限的情況。

（無須支付訂金之特別約定）

第4條 儘管有前條第2項之規定，在住宿契約成立後，本飯店亦有可能依照特別約定，不要求預先支付同項之訂金。

2. 當承諾住宿契約的申請時，若本飯店未依照前條第2項要求支付訂金，且未指定該訂金的支付期限時，則視為接受依前項特別約定辦理。

（請求配合設施內之感染預防措施）

第4條之2 本飯店有權要求欲住宿者依日本旅館業法（1948年法律第138號）第4條之2第1項之規定，配合設施內之感染預防措施。

（拒絕簽訂住宿契約）

第5條 如有下列情況，本飯店不排除拒絕住宿契約之簽訂。但是，本飯店不會就日本旅館業法第5條所列各款情況以外，故意拒絕提供住宿服務。

（1）未依照本條款申請住宿時。

（2）因客滿而無空房時。

（3）欲住宿者經認定可能有違反與住宿相關的法令規定、公共秩序、或善良風俗的行為時。

（4）欲住宿者經認定符合以下一至三項的情況時。

一　根據防止暴力團成員不法行為等相關法律（1991年法律第77號）第2條第2款

中所規定的暴力團（以下統稱「暴力團」。）、同法第2條第6款所規定之暴力團成員（以下統稱「暴力團成員」。）、暴力團准構成員或暴力團相關人士和其他反社會勢力

二　當法人或其他團體涉及由暴力團或暴力團員主導其事業活動時

三　公司董事中有符合暴力團成員條件的法人

（5）欲住宿者有明顯造成其他住宿旅客困擾之言行舉止時。

（6）當欲住宿者經查明屬於日本旅館業法第4條之2第1項第2款所規定之法定傳染病患者時（以下統稱「法定傳染病患者」）。

（7）當欲住宿者出現與住宿相關的暴力脅迫行為，或要求超出合理範圍之負擔時（推動不得以身心障礙身分為由予以歧視的法律（2013年法律第65號。以下統稱「消除身心障礙者歧視法案」。））適用於第7條第2項或第8條第2項所規定之應消除對身心障礙者的社會壁壘的情況則除外。）。

（8）當欲住宿者多次對本飯店提出根據日本旅館業法施行細則第5條之6所規定的、給旅館造成過重負擔並有可能妨礙向其他客人提供服務的要求時。

（9）因天災、設施故障或其他不可避免之事由而無法提供住宿時。

（10）欲住宿者符合以下各款之一的情況時。（符合京都市旅館業法的施行，以及確保旅館業的正確運營所需措施之相關條例第19條之規定時。）

一　酒醉者及對其他住宿旅客或使用者造成困擾或可能造成困擾者

二　言行舉止明顯異常者

三　經認定明顯無支付能力者

四　違反日本旅館業法第6條第2項之規定者

五　其他經認定有正當理由拒絕其住宿者

（拒絕簽訂住宿契約的說明）

第5條之2 當本飯店基於前項條款拒絕簽訂住宿契約時，欲住宿者有權要求詳細說明原因。

（住宿旅客之契約解除權）

第6條 住宿旅客可向本飯店提出解除住宿契約。

2. 本飯店在住宿旅客因可歸責於其自身之事由而解除全部或一部分住宿契約時（依照第3條第2項之規定，當在本飯店指定訂金支付日期並要求支付時，住宿旅客在該支付前已解除住宿契約時除外。），將依附表2所列明之內容，收取違約金。但在本飯店接受第4條第1款的特別約定的情況下，根據該特別約定之規定，住宿旅客解除住宿契約時的違約金支付義務，僅在本飯店已向住宿旅客明確告知該義務時適用。

3. 若住宿旅客於住宿當天晚上10點（如有事先告知預定到達時間，則為該時間的2小時後）仍未到達且無事先聯絡時，本飯店將視為住宿旅客解除該住宿契約來處理。

（本飯店之契約解除權）

第7條 如有下列情況，本飯店不排除解除住宿契約。但是，本飯店不會就日本旅館業法第5條所列各款情況以外，故意拒絕提供住宿服務。

（1）欲住宿旅客經認定可能有違反與住宿相關的法令規定、公共秩序、或善良風俗的行為時、或經認定曾進行過相同行為時。

（2）住宿旅客經認定符合以下一至三的情況時。

一　暴力團、暴力團成員、暴力團准構成員或暴力團相關人士和其他反社會勢力

二　當法人或其他團體涉及由暴力團或暴力團員主導其事業活動時

三　公司董事中有符合暴力團成員條件的法人

（3）住宿旅客有明顯造成其他住宿旅客困擾之言行舉止時。

（4）當住宿旅客經查明屬於法定傳染病患者時。
（5）當欲住宿者出現與住宿相關的暴力脅迫行為，或要求超出合理範圍之負擔時（若住宿旅客適用於消除身心障礙者歧視法案第7條第2項或第8條第2項所規定之應消除社會歧視的情況則除外。）。
（6）當住宿旅客多次對本飯店提出根據日本旅館業法施行細則第5條之6所規定的、給旅館造成過重負擔並有可能妨礙向其他客人提供服務的要求時。
（7）因天災等不可抗力之事由，無法提供住宿服務時。
（8）住宿旅客符合以下各款之一的情況時。（符合京都市旅館業法的施行，以及確保旅館業的正確運營所需措施之相關條例第19條之規定時。）
一　酒醉者及對其他住宿旅客或使用者造成困擾或可能造成困擾者
二　言行舉止明顯異常者
三　經認定明顯無支付能力者
四　違反日本旅館業法第6條第2項之規定者
五　其他經認定有正當理由拒絕其住宿者
（9）在非指定場所吸菸、對消防設備等進行惡作劇，或未遵守其他本飯店規定的使用規則中之禁止事項（僅限火災預防上必要的事項。）時。

2. 本飯店依前項之規定解除住宿契約時，不會向住宿旅客收取尚未提供的住宿服務等費用。

（解除住宿契約的說明）
第7條之2 當本飯店基於前項條款解除住宿契約時，住宿旅客有權要求詳細說明原因。

（住宿登記）
第8條　住宿旅客應在住宿當天於本飯店櫃檯處登記以下事項。
（1）住宿旅客的姓名、通訊地址和聯絡方式
（2）在日本國內無通訊地址的外籍旅客，請提供國籍和護照號碼
（3）其他經本飯店認定之必要事項

2. 住宿旅客欲使用住宿券、信用卡等能夠代替貨幣之方法支付第12條之費用時，請事先於前項登記時出示。

（客房的使用使間）
第9條 住宿旅客可使用本飯店客房的時間為下午3點至隔天早上11點止。但連續住宿的情況下，除了到達日及退房日之外，全天皆可使用。

2. 儘管有前項之規定，本飯店亦有可能提供超出同項規定時間外的客房使用服務。在此情況下，將收取本飯店所提示的追加費用。

（遵守使用規則）
第10條 住宿旅客於本飯店內，應遵守本飯店所規定並公告於飯店內的使用規則。

（營業時間）
第11條 本飯店主要設施等之營業時間，將於備置之宣傳手冊、各處公告、客房內資訊等進行說明。但如有不得已之情況，可能會臨時變更。屆時，本飯店將以適當方式加以公告周知。

（支付費用）
第12條 住宿旅客應予支付的住宿費用等明細，如附表1所列明之內容。

2. 前項所述之住宿費用等，須以現金或本飯店認可之住宿券、信用卡等可替代方式，於住

宿旅客抵達時或本飯店請求時，在櫃檯完成支付。

3. 當本飯店提供客房給住宿旅客，並且客房可供使用後，即使住宿旅客任意取消訂房，該情況下仍會收取住宿費用。

（本飯店之責任）

第13條 本飯店因履行住宿契約及其相關契約，或因不履行而對住宿旅客造成損害時，將賠償其損害。但若肇因為不可歸責於本飯店之事由時，則不在此限。

2. 本飯店為應對發生火災等意外，已投保旅館賠償責任保險。

（免責事項）

第14條 於本飯店內使用電腦通訊(具體指網際網路連線等服務)時，使用者應自行承擔責任。電腦通訊之結果(包括通訊速度下降、斷線等)，若導致使用者任何損害時，本飯店概不負責。此外，經本飯店判斷該電腦通訊使用行為不適當，而造成本飯店及第三人損害時，使用者應負責賠償該損害。

（無法按照契約提供客房時的處理方式）

第15條 當本飯店無法按照契約提供住宿旅客預訂之客房時，應在取得住宿旅客的同意下，盡力安排其他相同條件的住宿設施。

2. 儘管有前項之規定，當本飯店無法安排其他住宿設施時，將支付住宿旅客與違約金相同金額之補償費，並將該補償費作為損害賠償金。但若無法提供客房的原因為不可歸責於本飯店之事由時，將不支付任何補償費。

（寄存物品之處理方式）

第16條 住宿旅客寄存在櫃檯之物品或現金及貴重物品發生了滅失、毀損等損害時，除不可抗力的情況外，本飯店將賠償其損害。但當本飯店對於現金和貴重物品，要求住宿旅客提供其種類和價值之聲明，而住宿旅客未能履行時，本飯店將以15萬日圓為限，賠償其損害。

2. 住宿旅客攜帶進入本飯店但未寄存在櫃檯之物品或現金及貴重物品，若因本飯店之故意或過失而發生了滅失、毀損等損害時，本飯店將賠償其損害。但針對住宿旅客未事先明確告知種類及價值之物品，除本飯店故意或有重大過失之情況外，本飯店將以15萬日圓為限，賠償其損害。

（保管住宿旅客之隨身行李或攜帶物品）

第17條 若住宿旅客的隨身行李先於旅客到達本飯店，本飯店僅限於在行李到達之前已了解的情況下負責予以保管，並在住宿旅客在櫃檯辦理入住手續時交予旅客。

2. 若住宿旅客於辦理退房後，將行李或隨身物品遺忘於本飯店，原則上自發現日起（含當日）最長保管7日，其後將送交最近之警察署。

3. 關於前兩項所述的情況下，本飯店對於住宿旅客隨身行李或攜帶物品之保管責任，若為第1項依前條第1項之規定，若為前項則依同條第2項之規定辦理。

（停車責任）

第18條 住宿旅客使用本飯店停車場時，不論是否有寄存車輛鑰匙，本飯店僅提供車位，對停放之車輛不負保管責任。但在停車場的管理上，若因本飯店故意或過失而發生損害時，本飯店將承擔其賠償責任。

（住宿旅客之責任）

第19條 若因住宿旅客之故意或過失而使本飯店蒙受損害時，該住宿旅客應向本飯店賠償其損害。

（適用語言）

第20條 本條款以日文及其他語言製作，惟以日文為原文。若日文與多語言譯文之間出現不一致或差異時，均以日文版本為準。

（管轄法院及準據法）

第21條 凡因本條款所產生之一切爭議，均以大阪地方裁判所或大阪簡易裁判所為第一審之專屬合意管轄法院，並依日本法律解決。

（條款之變更）

第22條 本條款屬於民法所定之定型條款，於符合住宿旅客一般利益，或認為有變更之相當理由時，將依民法規定予以變更。

2. 本條款之變更，將於本公司官方網站公告變更後之內容，並自公告時所定之生效日起適用。

附表1 住宿費用等明細（第2條第1項及第12條第1項相關）

		明細
住宿旅客應支付總額	住宿費用	① 房費 ② 服務費（① × 15%）
	追加費用	③ 追加餐飲及其他使用費用 （產生服務費時則包含服務費）
	稅金	一 消費稅 二 住宿稅

（備註） 住宿費用以預訂時所申請之價格為準。

附表2 違約金（第6條第2項相關）

	收到解除契約之通知日／契約申請人數	不住宿	當天	前一天	9天前	13天前	20天前
一般	最多7名	100%	80%	20%	-	-	-
團體	8～39名	100%	80%	20%	10%	-	-
	40～79名	100%		80%	20%	10%	-
	80名以上	100%		80%	30%	20%	10%

（註） 1. %係指對房費所適用之違約金比例。
2. 非經由本飯店直接受理之預訂，其取消規定依各預訂來源之規定辦理。
3. 若本飯店另行規劃之住宿套裝方案、其他個別特約，訂定與上述不同之違約金時，則依其規定辦理。

使用規範

為確保公共性與安全性，並讓賓客享有舒適的住宿環境，本飯店根據住宿條款第10條，制定以下使用規則。如未遵守本規則所規定之事項，本飯店得依照住宿條款第7條之規定，不得已拒絕您住宿或使用飯店內各項設施。此外，根據同條款第19條之規定，您亦可能須負擔損害賠償責任，敬請特別留意並予以配合。

1．應遵守之安全防範相關措施

(1) 為防止客房內發生火災及意外事故，請遵守以下事項。
- ·離開客房時，請勿為智慧型手機或行動電源充電。
- ·請勿在寢具上放置或使用已插接電源的充電器或充電線。
- ·行動電源請勿於陽光直射、高溫場所，或靠近床鋪、床單等易燃物品處使用。
- ·若充電器或充電線出現異常發熱情形，請立即停止使用。
- ·請勿將已發熱的行動電源、充電器或充電線置之不理。
- ·請勿使用暖爐、炊事器具等火源設備，以及其他可能引發火災的物品。
- ·請勿使用煙火、線香、蠟燭等可能引起火災之物品。

(2) 本飯店客房全面禁煙。除館內指定吸煙區外，禁止吸煙(包含使用電子煙、加熱煙等吸煙行為）。
如發現客房內有煙味，或確認於客房內吸煙（包括電子煙、加熱煙等），本飯店將收取30,000日圓，作為除臭處理、寢具、窗簾、壁紙等清潔及修復費用之一部分。
如實際損害超過上述金額，本飯店將另行請求實際發生之費用。

(3) 客房逃生路線圖張貼於客房入口門背面，敬請事先確認。

(4) 入住期間如需離開房間時，請務必確認房門已鎖上。

(5) 住宿期間，如有人敲門，請先掛上門鍊後再開門，或先透過門上的窺視孔確認來訪者身分。如有任何可疑情況，請立即聯絡櫃檯。

2．有關貴重物品及寄放物品之處理

現金及其他貴重物品，請由旅客自行負責妥善保管。

(1) 如希望委託飯店保管現金及其他貴重物品，亦可使用櫃檯提供的保管箱。
※ 若客房內發生遺失或遭竊等情況，本飯店將根據住宿條款第16條第2項之規定處理。

(2) 遺落物及遺失物之處置將依據法令規定辦理。

(3) 寄放物品之保管期限原則規定如下。
寄放於衣帽間之物･･･7天

3．付款相關事項

(1) 原則上將於抵達時收取住宿相關費用，敬請知悉。

(2) 住宿期間如遇櫃檯出示帳單請款，請於當下結清款項。

(3) 恕不接受支票付款及外幣兌換，敬請知悉。

(4) 在飯店內的餐廳、酒吧消費並於帳單簽名時，請向服務人員出示客房鑰匙。

(5) 本飯店恕不代墊非本飯店直營之餐飲店、商店等的餐飲費、購物費，以及機票、火車票、觀光巴士車票、計程車費、郵票等費用。

4. 為避免造成其他賓客不適或困擾，請勿從事下列行為
   (1) 將下列物品帶入飯店內
      1. 犬、貓、小鳥及其他寵物（輔助犬除外）
      2. 易燃或引火之火藥、揮發性油類及具危險性之物品
      3. 發出惡臭之物品
      4. 數量過多之物品
      5. 其他法令禁止持有之物品
   (2) 除必要情況外，擅自使用或惡意破壞火災警報器、灑水系統、煙霧探測器、消防栓及其他各項
   (3) 在飯店內從事賭博、擾亂風紀或治安之行為，或造成其他客人困擾、產生厭惡感之行為
   (4) 大聲喧嘩、製造噪音、高歌、吵鬧，或將電視、收音機等音量調得過大，影響其他賓客安寧之行為
   (5) 將客房或大廳用於營業行為或辦公室等住宿以外之用途
   (6) 在飯店內發送、張貼廣告或宣傳物，以及進行物品銷售等行為
   (7) 將飯店內的備品移出指定位置，或以非原定用途之方式使用，致使現狀發生大幅改變之行為
   (8) 將各項設備、物品帶出飯店外
   (9) 在窗戶懸掛或於窗邊陳列有損飯店外觀之物品
   (10) 於建築物或設備加裝異物，或進行任何改變現狀之加工
   (11) 穿著睡衣、拖鞋等前往走廊、大廳、餐廳等客房以外之設施
   (12) 將隨身物品放置於走廊或大廳等處
   (13) 讓訪客進入房內、使用客房設備或備品
   (14) 其他與上述各款相類似，恐怕會造成其他賓客困擾，或有損飯店秩序、風紀及安全之行為

5. 其他
   (1) 未成年人單獨住宿，須事先取得監護人之許可與同意。
   (2) 因不可抗力以外之理由造成建築物、備品及其他飯店物品有所損壞、汙損或遺失時，須按相當金額進行賠償。
   (3) 於客房內使用電話時，將另行收取設施使用費。
   (4) 訪客會面請於大廳進行。請勿於客房內接待訪客。
   (5) 嚴禁超過客房額定人數住宿。
   (6) 恕不接受館外餐飲外送、或外送平台配送服務。
   (7) 下列個人或團體，本飯店得拒絕其使用館內各項設施。
      a. 符合住宿條款第5條規定者
      b. 對本飯店、飯店員工或其他賓客施加暴力、恐嚇、勒索、威脅、不當要求，或提出超出合理範圍要求者（包括曾有同樣行為紀錄者）
   (8) 關於採訪、攝影、公開之注意事項
      未經本飯店許可，嚴禁於飯店用地內以營利為目的進行攝影、錄音、錄影、採訪、廣告宣傳，或公開上述內容等行為。
      此外，不論其目的為何，凡有可能侵害本飯店其他賓客、飯店員工或其他館內工作人員之隱私權、肖像權或其他合法權益之攝影、錄音、錄影直播等行為，均一律禁止。

숙박 약관

(적용 범위)

제1조 본 호텔이 숙박객과 체결하는 숙박 계약 및 이와 관련된 계약은 본 약관에 정한 바에 의하는 것으로 하며, 본 약관에 정하지 않은 사항에 대해서는 법령 등(법령 또는 법령에 따른 것을 말한다. 이하 같음.) 또는 일반적으로 확립된 관습에 따릅니다.

2. 본 호텔이 법령 등 및 관습에 위배되지 않은 범위 내에서 특약에 응했을 때에는 전항의 규정에 불구하고 그 특약을 우선합니다.

(숙박 계약의 신청)

제2조 본 호텔에 숙박 계약의 신청을 하고자 하는 자는 다음 사항을 본 호텔에 신청하셔야합니다.

(1) 숙박자명
(2) 숙박 일 및 도착 예정 시간
(3) 숙박요금(원칙적으로 별표 제1의 객실 요금에 의한다.)
(4) 기타 본 호텔(시설)이 필요하다고 인정하는 사항

2. 숙박객이 숙박 중에 전항 제2호의 숙박일을 초과하여 숙박을 계속할 것을 신청한 경우 본 호텔은 그 신청이 이루어진 시점에서 새로운 숙박 계약의 신청이 있는 것으로 처리합니다.

(숙박 계약의 성립 등)

제3조 숙박 계약은 본 호텔이 전조의 신청을 승낙했을 때 성립하는 것으로 합니다. 단, 본 호텔이 승낙하지 않은 것을 증명한 경우에는 그러하지 않습니다.

2. 전항의 규정에 의해 숙박 계약이 성립된 경우 숙박 기간(3일 초과 시에는 3일간)의 객실 요금 의 한도 내에서 본 호텔이 정한 신청금을, 본 호텔이 지정한 날까지 지불하셔야 합니다.
3. 신청금은 우선 숙박객이 최종적으로 지불해야 할 숙박요금에 충당하고, 제6조 및 제19조의 규정을 적용하는 사태가 생겼을 때에는 위약금에 뒤따라서 배상금의 순서로 충당하고, 잔액이 있는 경우 제12조의 규정에 의한 요금 지불 시에 반환합니다.
4. 제2항의 신청금을 동항의 규정에 의해 본 호텔이 지정한 날까지 지불하지 않으신 경우에는 숙박 계약은 그 효력을 상실하는 것으로 합니다. 단, 신청금의 지불 기일을 지정함에 있어 본 호텔이 그 취지를 숙박객에게 고지한 경우에 한합니다.

(신청금의 지불을 필요로 하지 않는 특약)

제4조 전조 제2항의 규정에 불구하고 본 호텔은 계약 성립 후 동항의 신청금의 지불을 필요로 하지 않는 특약에 응할 수 있습니다.

2. 숙박 계약의 신청을 승낙함에 있어 본 호텔이 전조 제2항의 신청금의 지불을 요구하지 않은 경우 및 당해 신청금의 지불 기일을 지정하지 않은 경우에는 전항의 특약에 응한 것으로 취급합니다.

(시설에서의 감염 방지 대책에 대한 협조 요구)

제4조의 2 본 호텔은 숙박하고자 하는 자에게 여관업법(1948년 법률 제138호) 제4조의 2제1항의 규정에 의한 협조를 요구할 수 있습니다.

(숙박 계약 체결의 거부)

제5조 본 호텔은 다음에 기재한 경우에는 숙박 계약의 체결에 응하지 않을 수 있습니다.단, 본 항은 본 호텔이 여관업법 제5조에 기재한 경우가 아닌 경우에 숙박을 거부할 수 있

다는 것을 뜻하는 것이 아닙니다.
(1) 숙박 신청이 본 약관에 의하지 않을 때.
(2) 만실(만원)로 객실에 여유가 없을 때.
(3) 숙박하고자 하는 자가 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공질서 또는 선량한 풍속에 위배되는 행위를 할 우려가 있다고 인정될 때.
(4) 숙박하고자 하는 자가 다음 (가)에서 (다)에 해당한다고 인정될 때.
가. 폭력단원에 의한 부당한 행위의 방지 등에 관한 법률(1991년 법률 제77호) 제2조 제2호에 규정된 폭력단(이하 "폭력단"이라 한다.), 동법 제2조 제6호에 규정된 폭력단원(이하 "폭력단원"이라 한다.), 폭력단 준 구성원 또는 폭력단 관계자 및 기타 세력
나. 폭력단 또는 폭력단원이 사업활동을 지배하는 법인 기타 단체일 때
다. 법인으로서 임원 중 폭력단원에 해당하는 자가 있을 때
(5) 숙박하고자 하는 자가 다른 숙박객에게 현저히 폐를 끼칠 언동을 했을 때.
(6) 숙박하고자 하는 자가 여관업법 제4조의 2 제1항 제2호에 규정하는 특정감염증 환자 등(이하 "특정감염증 환자 등"이라 한다.)일 때.
(7) 숙박에 관하여 폭력적 요구 행위가 행해졌거나 또는 합리적인 범위를 넘은 부담을 요구받았을 때(숙박하고자 하는 자가 장애를 이유로 하는 차별 해소 추진에 관한 법률(2013년 법률 제65호. 이하 "장애인 차별 해소법"이라 한다.)) 제7조 제2항또는 제8조 제2항의 규정에 의한 사회적 장벽 제거를 요구하는 경우는 제외한다.).
(8) 숙박하고자 하는 자가 본 호텔에 대하여 그 실시에 동반되는 부담이 과중한 경우로서, 다른 숙박자에 대한 숙박 관련 서비스의 제공을 현저히 저해할 우려가 있는 요구로서 여관업법 시행규칙 제5조의 6에서 정한 사항을 반복하였을 때.
(9) 천재, 시설의 고장, 기타 부득이한 사유로 숙박시킬 수 없을 때.
(10) 숙박하고자 하는 자가 다음 각호의 어느 하나에 해당하는 자인 경우.
(교토시 여관업법의 시행 및 여관업의 적정한 운영을 확보하기 위한 조치에 관한 조례 제19조의 규정에 해당하는 경우.)
가. 만취자 및 다른 숙박객 또는 이용객에게 폐를 끼치거나 또는 폐를 끼칠 우려가 있는 자
나. 거동이 수상하거나 또는 언동이 수상한 자
다. 지불하는 능력이 명백히 없다고 인정되는 자
라. 여관업법 제6조 제2항의 규정을 위반한 자
마. 기타 숙박을 거부하는 것에 정당한 이유가 있다고 인정되는 자

(숙박 계약 체결의 거부에 대한 설명)
제5조의 2 숙박하고자 하는 자는 본 호텔이 전조에 따라 숙박 계약의 체결에 응하지 않는 경우 그 이유에 대한 설명을 본 호텔에게 요구할 수 있습니다.

(숙박객의 계약 해제권)
제6조 숙박객은 본 호텔에 신청하여 숙박 계약을 해제할 수 있습니다.
2. 본 호텔은 숙박객의 귀책사유에 의해 숙박 계약의 전부 또는 일부를 해제한 경우(제3조 제2항의 규정에 의하여 본 호텔이 신청금의 지불 기일을 지정하여 그 지불을 요구했을 경우로서, 그 지불 이전에 숙박객이 숙박 계약을 해제한 경우를 제외합니다.)에는 별표 제2에 제시한 바에 따라 위약금을 부과합니다. 단, 본 호텔이 제4조 제1항의 특약에 응할 경우에, 당해 특약에 응함에 있어 숙박객이 숙박 계약을 해제하였을 때의 위약금 지불 의무에 관해서는 본 호텔이 숙박객에게 고지를 한 때에 한합니다.

3. 본 호텔은 숙박객이 연락을 하지 않고 숙박일 당일 오후 10시(미리 도착 예정 시각이 명시된 경우에는 그 시각을 2시간 경과한 시각)가 되어도 도착하지 않을 때에는 당해 숙박 계약은 숙박객에 의해 해제된 것으로 간주하고 처리할 수 있습니다.

(본 호텔의 계약 해제권)

제7조 본 호텔은 다음에 기재한 경우에는 숙박 계약을 해제할 수 있습니다. 단, 본 항은 본 호텔이 여관업법 제5조에 기재한 경우가 아닌 경우에 숙박을 거부할 수 있다는 것을 뜻하는 것이 아닙니다.

(1) 숙박객이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공질서 또는 선량한 풍속에 위배되는 행위를 할 우려가 있다고 인정될 때, 또는 이와 같은 행위를 했다고 인정될 때.
(2) 숙박객이 다음 (가)에서 (다)에 해당한다고 인정될 때.
가. 폭력단, 폭력단원, 폭력단 준 구성원 또는 폭력단 관계자 및 기타 세력
나. 폭력단 또는 폭력단원이 사업활동을 지배하는 법인 기타 단체일 때
다. 법인으로서 임원 중 폭력단원에 해당하는 자가 있을 때
(3) 숙박객이 다른 숙박객에게 현저히 폐를 끼칠 언동을 했을 때.
(4) 숙박객이 특정감염증 환자 등일 때.
(5) 숙박에 관하여 폭력적 요구 행위가 행해졌거나 또는 합리적인 범위를 넘은 부담을 요구받았을 때(숙박객이 장애인 차별 해소법 제7조 제2항 또는 제8조 제2항의 규정에 의한 사회적 장벽 제거를 요구하는 경우는 제외한다.).
(6) 숙박객이 본 호텔에 대하여 그 실시에 동반되는 부담이 과중한 경우로서, 다른 숙박자에 대한 숙박 관련 서비스의 제공을 현저히 저해할 우려가 있는 요구로서 여관업법 시행규칙 제5조의 6에서 정한 사항을 반복하였을 때.
(7) 천재 등 불가항력에 기인하는 사유로 인해 숙박을 제공하지 못할 때.
(8) 숙박객이, 다음 각호의 어느 하나에 해당하는 자인 경우.(교토시 여관업법의 시행 및 여관업의 적정한 운영을 확보하기 위한 조치에 관한 조례 제19조의 규정에 해당하는 경우.)
가. 만취자 및 다른 숙박객 또는 이용객에게 폐를 끼치거나 또는 폐를 끼칠 우려가 있는 자
나. 거동이 수상하거나 또는 언동이 수상한 자
다. 지불하는 능력이 명백히 없다고 인정되는 자
라. 여관업법 제6조 제2항의 규정을 위반한 자
마. 기타 숙박을 거부하는 것에 정당한 이유가 있다고 인정되는 자
(9) 지정된 장소 외에서의 흡연, 소방용 설비 등에 대한 장난, 기타 본 호텔이 정한 이용 규칙의 금지사항(화재 예방 상 필요한 조치에 한함)을 따르지 않을 때.

2. 본 호텔이 전항의 규정에 따라 숙박 계약을 해제했을 때에는 숙박객이 아직 제공을 받지 않은 숙박 서비스 등 요금은 받지 않습니다.

(숙박 계약 해제에 대한 설명)

제7조의 2 숙박객은 본 호텔이 전조에 따라 숙박 계약을 해제한 경우 그 이유에 대한 설명을 본 호텔에게 요구할 수 있습니다.

(숙박 등록)

제8조 숙박객은 숙박일 당일에 본 호텔 프론트에서 다음 사항을 등록하셔야합니다.

(1) 숙박객의 성명, 주소 및 연락처
(2) 일본 국내에 주소를 가지고 있지 않은 외국인인 경우에는 국적 및 여권번호
(3) 기타 본 호텔이 필요하다고 인정하는 사항

2. 숙박객이 제12조의 요금을 숙박권, 신용 카드 등 통화를 대신하는 방법으로 지불하려고 할 때에는 미리 전항의 등록 시에 그것들을 제시하셔야 합니다.

(객실 사용시간)

제9조 숙박객이 본 호텔의 객실을 사용할 수 있는 시간은 오후 3시부터 다음날 아침 11시까지로 합니다. 단, 연속하여 숙박할 경우에는 도착일 및 숙박일을 제외하고 종일 사용할 수 있습니다.

2. 본 호텔은 전항의 규정에 불구하고 동항에 정한 시간 이외의 객실 사용에 응할 수 있습니다. 이 경우 본 호텔이 제시하는 추가 요금을 청구합니다.

(이용 규칙 준수)

제10조 숙박객은 본 호텔 내에서는 본 호텔이 정하고 호텔 내에 게시한 이용 규칙을 따라야 합니다.

(영업시간)

제11조 본 호텔의 주요 시설 등 영업시간은 비치된 팸플릿, 각 시설의 게시물, 객실 내 정보 등을 통해 안내해 드립니다. 단, 부득이한 경우에는 이를 임시로 변경할 수 있습니다. 이 경우 본 호텔이 적절한 방법으로 이를 공지하는 것으로 합니다.

(요금 지불)

제12조 숙박객이 지불해야 할 숙박요금 등의 내역은 별표 제1에 기재한 바에 따릅니다.

2. 전항의 숙박요금 등의 지불은 통화 또는 본 호텔이 인정한 숙박권, 신용카드 등 이에 대체할 수 있는 방법으로 숙박객이 도착한 때 또는 본 호텔이 청구한 시점에 프런트에서 지불하셔야 합니다.
3. 본 호텔이 투숙객에게 객실을 제공하고 사용이 가능하게 된 후 숙박객이 임의로 숙박하지 않은 경우에도 숙박요금은 부과됩니다.

(본 호텔의 책임)

제13조 본 호텔은 숙박 계약 및 이와 관련된 계약을 이행하는 과정 또는 그 불이행으로 인해 숙박객에게 손해를 입혔을 때에는 그 손해를 배상합니다. 단, 본 호텔의 책임이 없는 사유에 의한 경우는 예외로 합니다.

2. 본 호텔은 만일의 화재 등에 대처하기 위해 료칸 배상책임 보험에 가입하고 있습니다.

(면책사항)

제14조 당 호텔 내에서 컴퓨터 통신(인터넷 연결 등을 말합니다) 을 이용할 때는 이용자 자신의 책임하에 이용해야 합니다. 컴퓨터 통신 결과(통신속도 저하, 불통 등을 포함합니다) 이용자가 어떠한 피해를 입더라도 당 호텔은 일체 책임을 지지않습니다. 또한 컴퓨터 통신을 이용할 때 당 호텔이 부적절하다고 판단한 행위로 인하여 당 호텔 및 제 3 자에게 훼손 등의 손해를 끼쳤을 때에는 그 손해를 배상해야 합니다.

(계약한 객실을 제공하지 못할 경우의 취급)

제15조 본 호텔은 계약한 객실을 숙박객에게 제공하지 못할 경우 숙박객의 양해를 얻어 가능한 한 동일 조건에 따른 다른 숙박 시설을 알선하는 것으로 합니다.

2. 본 호텔은 전항의 규정에 불구하고 다른 숙박 시설을 알선하지 못할 경우 위약금 상당액의 보상금을 숙박객에게 지불하고, 그 보상금은 손해 배상액으로 충당합니다. 단, 본

호텔의 책임이 없는 사유에 의해 객실을 제공하지 못한 때에는 보상금을 지불하지 않습니다.

(기탁물 등의 취급)

제16조 숙박객이 프론트에 맡긴 물품 또는 현금 및 귀중품에 대하여 멸실, 훼손 등의 손해가 발생한 경우에, 그 손해 발생이 불가항력인 경우를 제외하고는 본 호텔이 그 손해를 배상합니다. 단, 현금 및 귀중품에 대해서는 본 호텔이 그 종류 및 가액의 명고(明告)를 요구한 경우로서 숙박객이 명고를 하지 않은 경우에는 본 호텔은 15만 엔의 한도 내에서 그 손해를 배상합니다.

2. 숙박객이 본 호텔 내에 반입한 물품 또는 현금 및 귀중품으로서 프론트에 맡기지 않은 것에 대하여, 본 호텔의 고의 또는 과실로 인해 멸실, 훼손 등 손해가 발행한 경우에는 본 호텔은 그 손해를 배상합니다. 단, 숙박객이 사전에 종류 및 가액을 명고하지 않은 것에 대해서는 본 호텔에 고의 또는 중대한 과실이 있는 경우를 제외하고는 15만 엔의 한도 내에서 본 호텔은 그 손해를 배상합니다.

(숙박객의 수하물 또는 휴대품 보관)

제17조 숙박객의 수하물이 숙박에 앞서 본 호텔에 도착한 경우에는 해당 수하물의 도착 전에 본 호텔이 양해한 경우에 한하여 책임지고 보관하고, 숙박객이 프론트에서 체크인 할 때 건네 드립니다.

2. 숙박객이 체크아웃한 후 숙박객의 수하물 또는 휴대품을 본 호텔에 두고 간 경우 원칙적으로 발견일을 포함하여 최장 7일간 보관하며 이후 가장 가까운 경찰서에 신고합니다.
3. 전 2항의 경우에 있어 숙박객의 수하물 또는 휴대품 보관에 대한 본 호텔의 책임은, 제1항의 경우에는 전조 제1항의 규정에, 전항의 경우에는 동조 제2항의 규정에 준하는 것으로 합니다.

(주차 책임)

제18조 숙박객이 본 호텔 주차장을 이용하는 경우 차량 키의 기탁 여부를 불문하고 본 호텔은 장소를 대여하되 차량의 관리 책임에 대해서는 책임을 지지 않습니다. 단, 차량 관리에 있어서 본 호텔의 고의 또는 과실로 인하여 손해를 입힌 경우에는 그 배상의 책임을 집니다.

(숙박객의 책임)

제19조 숙박객의 고의 또는 과실로 인하여 본 호텔이 손해를 입은 경우에는 당해 숙박객은 본 호텔에 대하여 그 손해를 배상해야 합니다.

(지배하는 국어)

제20조 본 약관은 일본어와 기타 언어로 작성되나 일본어를 원문으로 하며 다국어 번역문과 불일치 또는 차이가 있을 때는 모두 일본어 원문에 따릅니다.

(관할 및 준거법)

제21조 본 약관과 관련하여 발생하는 모든 분쟁에 대해서는 오사카 지방법원 또는 오사카 간이법원을 제1심의 전속적 합의 관할법원으로 정하며 일본 법령에 따라 해결합니다.

(약관의 변경)

제22조 본 약관은 민법에서 정한 정형 약관에 해당하며 숙박객의 일반적인 이익에 부합하는 경우

또는 변경이 필요한 상당한 사유가 있다고 인정될 때는 민법 규정에 따라 변경합니다.

2. 본 약관의 변경은 변경 후의 규정 내용을 당사 웹사이트에 게재하고 그때 정하는 효력 발생일부터 적용되는 것으로 합니다.

별표 제1 숙박요금 등의 내역(제2조 제1항 및 제12조 제1항 관계)

		내역
숙박객이 지불해야할총액	숙박요금	① 객실 요금 ② 서비스료(① × 15%)
	추가 요금	③ 추가 식음료 및 기타 이용 요금 (서비스가 발생할 경우는 서비스 요금을 포함)
	세금	가. 소비세 나. 숙박세

(비고) 숙박요금은 예약 시 신청한 요금에 준합니다.

별표 제2 위약금(제6조 제2항 관계)

	계약 해제 통지를 받은 날 ／ 계약 신청 인원수	노쇼	당일	전날	9일전	13일전	20일전
일반	7명까지	100%	80%	20%	-	-	-
단체	8～39명까지	100%	80%	20%	10%	-	-
	40～70명까지	100%		80%	20%	10%	-
	80명 이상	100%		80%	30%	20%	10%

(주1) 1. %는 객실 요금에 대한 위약금 비율입니다.
2. 본 호텔에 직접 신청한 예약 외의 취소는 해당 예약처의 기준을 따릅니다.
3. 본 호텔이 별도로 기획하는 숙박 패키지, 기타 개별 특약에 따라 위와 다른 위약금을 정한 경우는 그 규정을 따릅니다.

이용 규칙

저희 호텔은 공공성과 안전을 확보하고 고객님께서 쾌적하게 지내실 수 있도록 하기 위해 숙박 약관 제10조에 의거하여 다음과 같이 이용 규칙을 정하고 있습니다.
본 규칙에서 정한 사항을 준수하지 않으실 경우 숙박 약관 제7조에 따라 부득이하게 숙박 또는 호텔 내 각종 시설 이용을 거부할 수 있습니다. 또한, 동 약관 제19조에 따라 손해배상을 청구할 수 있도 있으므로 이점 특히 유의해 주십시오.

1. 안전 및 보안상 준수하여야 할 사항에 대하여
   (1) 객실 내 화재 및 사고 예방을 위해 다음 사항을 준수해 주십시오.
   · 객실을 비울 때는 스마트폰 및 휴대용 배터리 충전을 자제해 주십시오.
   · 콘센트에 연결된 충전기 및 충전 케이블을 침구 위에서 사용하거나 방치하지 마십시오.
   · 휴대용 배터리는 직사광선이 닿는 곳, 고온이 될 가능성이 있는 곳, 침대나 시트 등 불에 잘 타는 소재 근처에는 사용하지 마십시오.
   · 충전기나 충전 코드가 비정상적으로 발열한 경우, 즉시 사용을 중단해 주십시오.
   · 고온이 된 휴대용 배터리, 충전기 및 충전 코드를 방치하지 마십시오.
   · 난방용, 조리용 등의 화기 및 발화 위험이 있는 물품은 사용하지 마십시오.
   · 불꽃놀이, 향, 양초류 등 화재의 원인이 될 수 있는 물품은 사용하지 마십시오.

   (2) 본 호텔의 모든 객실은 금연입니다. 건물 내 지정장소 이외에서의 흡연 행위(전자담배, 가열식 담배 등으로 흡연하는 행위를 포함한다)
   객실 내에서 담배 냄새가 확인되는 등 객실 내에서 흡연(전자담배, 가열식 담배 등을 통한 흡연을 포함한다)이 확인된 경우, 탈취 작업 및 침구, 커튼, 벽지 등의 세탁, 수리 등에 드는 비용의 일부로 30,000엔을 청구합니다.
   또한 이를 초과하는 손해가 발생한 경우에는 그 실비 상당액을 별도로 청구합니다.
   (3) 객실로부터의 대피 경로도는 객실 입구 문 뒷면에 게시되어 있으니 미리 확인해 주십시오.
   (4) 체재 기간 동안에 객실을 나가실 때에는 잠금 상태를 확인해 주십시오.
   (5) 체제 기간 동안 누군가 문을 두드릴 경우, 도어 체인 를 채운 채로 문을 열거나 도어 스코프를 통해 확인해 주십시오. 수상하다고 생각될 때는 프런트 데스크로 연락해 주십시오.

2. 귀중품, 일시보관 물품의 취급에 대하여
   현금 기타 귀중품은 고객님께서 직접 책임지고 관리해 주시기를 부탁드립니다.
   (1) 현금 기타 귀중품 보관을 원하시는 경우 프런트에 비치된 대여 금고를 이용하실 수 있습니다.
   ※ 만일 객실 내에서 분실, 도난 등이 발생한 경우 는 숙박 약관 제16조 제2항의 규정에 따라 처리해 드립니다.
   (2) 분실물, 유실물에 관한 조치는 법령에 근거하여 취급합니다.
   (3) 일시보관 물품의 보관 기간은 원칙적으로 아래와 같이 취급합니다.
   물품 보관소에서 일시보관 물품･･･7일

3. 결제에 대하여
   (1) 원칙적으로 도착 시에 숙박요금 등을 결제하셔야 합니다. 이점 양해하시기 바랍니다.
   (2) 체재 기간 동안 프런트 데스크가 계산서를 제출할 때마다 결제하시기 바랍니다.
   (3) 수표 결제 및 환전은 받지 않습니다. 이점 양해하시기 바랍니다.

(4) 호텔 내 레스토랑, 바 이용 시에 계산서에 서명하시는 경우 룸키를 직원에게 제시해 주십시오.
(5) 호텔 직영이 아닌 음식점, 기념품 가게 등에서 식사비, 쇼핑비, 항공권, 열차, 관광버스 승차권 등의 요금, 택시비, 우표비 등은 대납해 드릴 수 없습니다.

4. 다른 고객에게 불쾌감을 주거나 폐를 끼칠 우려가 있으므로 자제해 주셨으면 하는 행위
(1) 호텔 내로 아래 물품을 반입하는 행위
1. 개, 고양이, 작은 새 등 기타 애완동물(보조견 제외)
2. 발화 또는 인화되기 쉬운 화약, 휘발유류 및 위험성이 있는 제품
3. 악취를 발하는 물품
4. 아주 대량의 물품
5. 기타 법령에 의해 소지가 금지되어 있는 물품
(2) 화재경보기, 스프링클러 헤드, 연기 감지기, 소화전, 기타 화재 예방에 관한 각종 설비를, 필요시 이외에 사용하거나 장난을 치는 행위
(3) 호텔 내에서 도박 또는 풍기, 질서를 문란케 하는 행위 또는 다른 투숙객에게 폐를 끼치거나 혐오감을 줄 수 있는 행위
(4) 큰 소리, 소음, 노래 부르기나 소란을 떠는 행위, 그 외 텔레비전이나 라디오의 음량을 높이는 등 다른 고객에게 폐를 끼치는 행위, 혐오감을 주는 행위
(5) 객실, 로비에서 하는 영업 행위 또는 사무소 등 숙박 이외 목적으로 사용하는 행위
(6) 호텔 내에서 광고, 선전물을 배포, 첩부하거나 물품 판매 등을 하는 행위
(7) 호텔 내 비품을 소정의 장소에서 옮기거나 현상을 현저히 변경하고 용도 이외 목적으로 사용하는 행위
(8) 각종 설비, 각종 물품을 호텔 바깥으로 반출하는 행위
(9) 호텔의 외관을 해칠 수 있는 것을 창문에 걸거나 창가에 진열하는 행위
(10) 건물이나 설비에 이물질을 부착하거나 현 상태를 변경하는 가공을 하는 행위
(11) 잠옷, 슬리퍼 등을 착용하고 복도, 로비, 레스토랑 등 객실 이외 각종 시설로 가는 행위
(12) 복도, 로비 등에 소지품을 방치하는 행위
(13) 외부인을 실내로 들여 객실 내 설비, 비품 등을 사용시키는 것
(14) 기타 전 각 호에 준하는 행위로 다른 투숙객에게 폐를 끼치거나 호텔의 질서, 풍기 또는 안전을 해칠 우려가 있는 행위

5. 기타
(1) 미성년자 단독 투숙은 보호자의 허가 및 동의가 있는 경우에 한합니다.
(2) 불가항력 이외 사유로 인하여 건축물, 비품 및 기타 호텔의 물품을 손상, 오염 또는 분실한 경우 상당 금액의 배상을 받을 수 있습니다.
(3) 객실 내에서 전화 이용 시, 시설이용료를 가산합니다.
(4) 방문객과의 면회는 로비에서 해 주십시오. 객실 내에서의 면회는 삼가십시오.
(5) 객실 정원을 초과하는 숙박은 단호히 거절합니다.
(6) 호텔 외부에서 음식물 배달 또는 배달 서비스 등의 이용은 금지하고 있습니다.
(7) 다음에 해당하는 분(개인 또는 단체)에 대해서는 저희 호텔의 각종 시설 이용을 거절할 수 있습니다.
가. 숙박 약관 제5조의 규정에 해당하는 경우
나. 저희 호텔, 직원, 또는 다른 투숙객에 대해 폭력, 협박, 공갈, 위압적인 부당한 요구, 혹은 합리적인 범위를 초과하는 요구를 한 경우(과거 유사한 행위 포함)
(8) 취재, 촬영, 공개 등에 관한 주의 사항
저희 호텔 부지 내에서 저희 호텔의 허가 없이 영리 목적으로 사진 촬영, 녹음, 녹화, 취재, 광고 이용 또는 이러한 내용의 공개 등을 하는 것은 단호히 거절합니다.
또한, 목적에 상관없이 저희 호텔의 다른 투숙객 또는 직원, 그 외 호텔 근무자의 사생활, 초상권 및 기타 권리 이익을 침해할 우려가 있는 사진 촬영, 녹음, 녹화 배포 등의 그 행위를 금지합니다.